

## 自然と共に

(原文)

森脇 秀行 (12 歳)

広島県

広島なぎさ中学校

今回作文をかくということで自然について考えてみました。僕は小学校から五感を使って自然を感じるというテーマをかかげ6年間過ごしてきました。だから小さいときから自然が大好きでワクワクします。四季によって空が変わったり海の色、山の色など自然を感じられることに僕は感動もします。だけどそれは毎日思うことはなく当たり前を感じてしまう僕もいるのです。人間のために多くの木が切られたり自然をこわす一方、新しいものがどんどん作られたりしています。自然を大切に考えようと運動する反対に人間のためにどんどん自然がこわれていくことに嫌だなと感じることもあります。僕のできることを少しでもすることにより、皆が一人が少しずつ心がけることで、自然は守られるのではないかと考えます。僕は海が大好きです。人間がゴミをポイ捨てしたりして海がよごれ魚たちが死んでいけば、僕たちは毎日当り前のように食べている魚たちもいなくなります。夏にきれいに海を見ることも水遊びすることもできなくなると考えると、ゴミのポイ捨てはやめようと思います。皆がそれをすると、今よりもっと海もきれいになりと思うし、もしかしたら魚たちも住みやすい海になるのではないかと思います。そう考えると普段生活できているのは自然があるから僕たちは生きていけるのではないかとも思います。これを機会にもっと自然のことを考えてみようと思いました。当たり前なことは何もなく、生きていけるのも自然のお陰なんだと。僕が大人になって結婚して子供ができてまたその子が子供を産んで、その時も美しい自然が残るように僕のできることを考え過ぎていきたいです。人間の持つ能力である五感を使って感じることも自然を体で感じることもできます。山の色も色えんぴつでは表せない色もあります。でもにおいや手ざわりなどは感じられます。だから僕は休みの日には出来るだけ外へ出かけるように心がけていますし、家族もよく外へ出かけます。季節によって空の色や海の色山の色香りなど違うので、そろそろ春だね、という会話もします。雨の前には外にでると雨のにおいがします。日々の生活の中にも、たくさんの自然を感じられますし、毎日五感を使うこともできるかな。と思いました。もっと人間は自然のことを考えるべきだし、守られていることを一人一人自覚するべきなのではないかとも思います。当り前に朝がきて、冬がくる。そんなことが本当は一番のキセキなのかなと作文を書きながら思いました。これから僕の大好きな夏がきます。ずっとクーラーを付けているとエコにならないので今年の夏はクーラーをなるべく使わず、車で送り迎えをしてもらうのも少し考えて歩いたり、自転車を使ってみようかとも思います。夏休みはバレエの発表会で

海には行けないかもしれないけど、もし海へ行けたらゴミ拾いも少ししてみようと思います。意識をすることで自然が僕たちを守ってくれていると思うので出来ることをやってみます。その意識が僕の子供、また子供とつながっていくようにしたいと思います。そして僕がワクワクするのと同じように子供たちにもワクワクしてもらいたいです。そして、きれいな海、山、川、空を見てもらいたいです。自然に感謝しながら生きていけたらとても豊かな人間になれるように自然を大切に過ごしていきたいと思いました。そして、自然をしっかり観察しながら生きていきたいと思いました。また、これからもしっかり五感を使いながら日々、過ごしていきたいです。